

広報

No.187

丹波山

TABAYAMA



大きな自然のポケットです。
山の山の手。丹波山村。

令和7年5月

編集と発行 丹波山村教育委員会 ■ 山梨県北都留郡丹波山村2450 TEL ■ 0428-88-0211 FAX ■ 0428-88-0207
E-mail ■ info@vill.tabayama.yamanashi.jp URL ■ https://www.vill.tabayama.yamanashi.jp/



青空のもと、パンジーの花で描かれた「タバスキー」。春を迎えた丹波山村のほほえましい風景です。

主なもくじ

村議会3月定例会	2	地域の出来事	7
令和7年度当初予算	3	新任紹介	10
医科診療所 毎週火・金曜日に開所	4	丹波山村行政組織図	11
令和6年度ふるさと納税実績	5	丹波山村消防団任命式	12
フードバンク山梨と連携協定	5	第77回日本消防協会定例表彰「表彰旗」受章 ...	12
保育所卒所式・入所式、小中学校卒業式・入学式 ..	6		

村議会

3月定例会

令和7年度当初予算、
条例等を含め提出議
案28件を可決

■報告

●山梨県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更に伴う山梨県市町村総合事務組合規約の変更の件の専決処分の承認

●山梨県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更に伴う財産処分の件の専決処分の承認

■条例

●刑法等の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の件

●刑法等の一部を改正する法律により、懲役及び禁錮が廃止され、拘禁刑が創設されることに伴う整理条例としての一括改正等です。

●丹波山村職員給与条例の一部を改正する条例

●人事院勧告に基づく給与条例の一部改正です。

●丹波山村フルタイム会計年度任用

第5回一般会計補正予算の内訳

主な歳入 (単位：千円)

区分	補正額	主な内容
普通交付税	41,464	額確定による増
国庫支出金	8,100	第2世代交付金 7,600
県支出金	1,301	物価高騰給付金（非課税世帯給付用） 1,010
寄付金	△ 45,000	ふるさと納税 △ 50,000
繰入金	△ 38,134	基金等繰入金の減
諸収入	△ 27,200	東京都交付金 △ 29,000
村債	3,200	村の借入金
計	△ 56,269	

主な歳出 (単位：千円)

区分	補正額	主な内容
議会費	△ 300	精査による減
総務費	△ 19,400	人件費 2,452 ふるさと納税推進費 △ 22,350 地域おこし協力隊費 △ 5,802 地方創生臨時交付金事業 3,051 デジタル田園都市国家構想交付金（緊急防災整備型）事業 15,200
民生費	△ 8,647	人件費 △ 6,261 特別会計（国保等）繰出金 △ 1,410 障害者自立支援給付事業費 △ 1,660 後期高齢者医療広域連合事業費 △ 2,699
衛生費	△ 999	人件費 △ 1,067
農林水産業費	△ 3,077	人件費 △ 2,647
商工費	△ 9,128	特別会計（温泉事業等）繰出金 △ 7,438 観光施設整備事業費 △ 1,300
土木費	△ 29,813	下水道繰出金 △ 29,000 橋梁長寿命化修繕事業費 1,079
消防費	△ 494	消防施設費 △ 320
教育費	818	人件費 814
諸支出金	14,771	基金積立金
計	△ 56,269	

職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

●特殊勤務手当を廃止するための条例改正です。

●丹波山村パートタイム会計年度任用職員の報酬、期末手当、勤勉手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

●特殊勤務報酬を廃止するための条例改正です。

●丹波山村職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

●仕事と介護の両立支援制度を、利用しやすい勤務環境を整備するための改正です。

●条件付採用期間中の職員及び臨時的に任用された職員の分限に関する条例の制定

●条件付採用職員及び臨時的任用職

員の分限についての条例です。

■計画変更

●丹波山村過疎地域持続的発展計画の変更

●丹波山村過疎地域持続的発展計画に新たな事業を追加するための計画変更です。

■補正予算

●令和6年度丹波山村一般会計補正予算（第5回）（別表）

●令和6年度丹波山村国民健康保険特別会計補正予算（第3回）

●令和6年度丹波山村水源の里保健休養施設事業特別会計補正予算（第3回）

●令和6年度丹波山村介護保険特別会計補正予算（第3回）

●令和6年度丹波山村温泉事業特別会計補正予算（第2回）

●令和6年度丹波山村後期高齢者医療特別会計補正予算（第1回）

●令和6年度丹波山村簡易水道事業会計補正予算（第1回）

●令和6年度丹波山村下水道事業会計補正予算（第1回）

■令和7年度当初予算

●令和7年度丹波山村一般会計予算

●令和7年度丹波山村国民健康保険特別会計予算他7特別会計

●令和7年度丹波山村簡易水道事業会計予算

●令和7年度丹波山村下水道事業会計予算（別表）

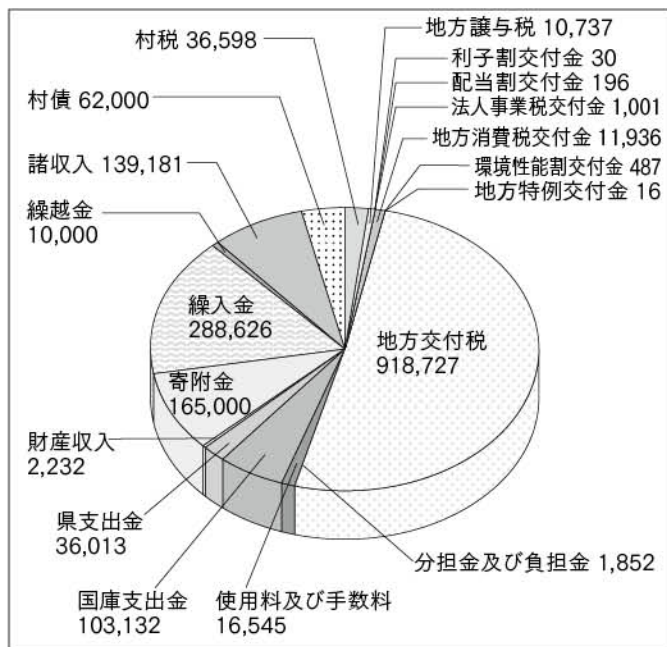
18億430万9千円

令和7年度（2025年度）

一般会計 当初予算

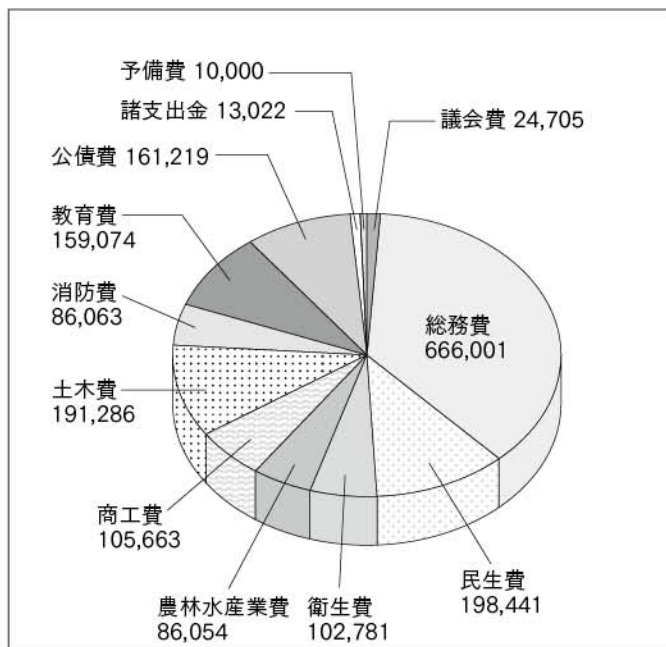
■一般会計歳入の内訳

(単位：千円)



■一般会計歳出の内訳

(単位：千円)



■令和7年度 各会計の当初予算

(単位：千円、%)

会 計 名			本年度	前年度	増 減	増減率
一 般 会 計			1,804,309	1,702,490	101,819	6.0
特 別 会 計	国民健康保険会計	事業勘定	133,220	128,038	5,182	4.0
		直診勘定	57,529	76,629	△ 19,100	△ 24.9
	教育奨励資金会計		1,805	1,805	0	0.0
	水源の里保健休養施設事業会計		22,175	21,890	285	1.3
	有線テレビ放送施設事業会計		5,539	5,535	4	0.1
	介護保険会計		94,396	106,804	△ 12,408	△ 11.6
	温泉事業会計		39,500	49,887	△ 10,387	△ 20.8
	介護サービス事業会計		223	223	0	0.0
	後期高齢者医療会計		15,350	14,820	530	3.6
公営企業会計	簡易水道事業会計		83,595	50,408	33,187	65.8
	下水道事業会計		215,940	170,513	45,427	26.6

丹波山村が国の伴走支援の現場に決定

地方創生支援官が村を訪問

令和7年度から新しくスタートした「地方創生伴走支援制度」を通じ、内閣官房、農林水産省、経済産業省に勤務する国の職員を地方創生支援官として丹波山村に迎え入れることになりました。地方創生伴走支援制度は、支援官に選ばれた国の職員が、1年かけて副業的に自治体の支援を行うもので、全国の184市町村から応募があり、丹波山村を含む60市町村が選ばれました。

4月30日～5月1日には支援官3人が丹波山村を訪れ、木下喜人村長らと意見交換を行い、村内を見学しました。



医科診療所 毎週 火・金曜日に開所

「グリスロ」で
送迎も



名取富貴医師
(火曜日担当)



上野昌輝医師
(金曜日担当) 管理者



白木成美看護師



▲ グリーンスローモビリティ

丹波山村国民健康保険診療所では、山梨大学医学部附属病院の協力を得て、4月4日から週2日の診療を開始しました。毎週火曜日と金曜日に、同大救急科の上野昌輝医師、名取富貴医師にそれぞれ担当していただいています。

鴨沢公民館への出張診療は当面の間中止しますが、保之瀬、東部地区にお住いの方を対象に送迎を行っています。また、奥秋、上組、中組、下組、高尾、押垣外の各地区から診療所への送迎には、グリーンスローモビリティ（時速20km未満で走る電気自動車）を走らせています。どなたでも無料で利用できますので、ぜひご利用ください。

診療時間

9:00 ~ 12:00
13:00 ~ 16:00

☎0428-88-0303

送迎に関するお問い合わせ

☎0428-88-0612
(集落支援員事務所・白川)

令和7年度 地域活性化起業人に5人を委嘱

丹波山村では、総務省が推進する「地域活性化起業人制度」を積極的に活用し、民間人材の持つ専門的なノウハウや知見を村づくりに生かしています。令和7年度は、以下の5人（企業派遣型4人、副業型1人）を丹波山村地域活性化起業人に委嘱しました。

	氏 名	所属企業	主な活動内容
企業 派遣型	宮本 義信	株式会社ユコラ	役場の人材育成
	山田 星一	株式会社エーエージェント	小・中学校におけるICT化支援
	川口 弘行	川口弘行合同会社	役場内のDX支援
	星野亜紀子	合同会社HiTTiSYO	関係人口の創出
副業型	榊原 拓磨	株式会社NTTドコモ	デジタル格差解消



▲ 令和7年度から地域活性化起業人を委嘱した川口弘行さんと星野亜紀子さん



▲ 副業型地域活性化起業人の榊原拓磨さんによるスマホ教室

令和6年度 ふるさと納税 98,131,300円で着地

クラウドファンディングも 1,000万円超

令和6年度に丹波山村に寄せられたふるさと納税の寄附総額は、98,131,300円でした。ふるさと納税型のクラウドファンディングにも、2つのプロジェクトを合わせて1,192万1,800円が寄せられました。寄附の使い道の内訳は次のとおりです。

①子ども・子育て支援事業	38,067,000円
②高齢者活躍・介護支援事業	6,588,000円
③くらし・しごと拠点整備事業	6,773,000円
④村長におまかせ	34,935,300円
⑤クラウドファンディング「東京都で一番高い山『雲取山』の登山環境を守りたい!」	3,336,000円
⑥クラウドファンディング「10月の火災で8棟が焼失…鴨沢集落の復興を応援してください!」	8,350,000円
⑦その他	82,000円

令和6年度 企業版ふるさと納税

15社から
1,471万1,110円

令和6年度に丹波山村に寄せられた「地方応援税制」（企業版ふるさと納税）は、15社から計1,471万1,110円で、昨年度の7社、計1,000万円を大きく上回りました。企業版ふるさと納税は、自治体が定め、国から認定を受けた「地域再生計画」に基づいて行う事業に対して企業が寄附を行った場合に、法人住民税等の法人関係税から最大で寄附額の約9割に相当する額が軽減される制度です。いただいた寄附金は、村の地方創生の取組に有効活用させていただきます。

令和6年度中に 寄附をいただいた企業のご紹介（受付順）

企 業 名	本社所在地
株式会社きらぼし銀行	東京都港区
株式会社サクセス	東京都足立区
株式会社エヌディエス	山梨県甲府市
株式会社ロード	山梨県甲府市
タレントスクエア株式会社	東京都港区
株式会社NEXT ONE	東京都渋谷区
株式会社アガルート	東京都新宿区
株式会社ウェブブランディング	東京都豊島区
株式会社ダイブ	東京都新宿区
株式会社河内屋ジェノス	東京都墨田区
有限会社印傳の山本	山梨県甲府市
植野興業株式会社	山梨県甲州市
有限会社山梨フルーツライン	山梨県山梨市
株式会社ゼロアクセル	東京都千代田区
リロン株式会社	東京都新宿区

子どもの貧困対策連携協定書 調印式



丹波山村と丹波山村教育委員会は4月16日、生活困窮世帯への食糧支援を行っている認定NPO法人フードバンク山梨（米山けい子理事長）と「子どもの貧困対策連携協定」を締結しました。フードバンク山梨では、夏休みなどの学校給食がない長期休暇中に、子どものいる困窮家庭へ食料品を送る「フードバンク子ども支援プロジェクト」を行っています。協定締結を機に、支援を受けるのに必要な書類は、学校を通じて対象家庭へ配付できるようになりました。

子どもの貧困対策で
フードバンク山梨と
連携協定締結

丹波山村保育所入所式



令和7年4月4日、5人が入所しました。お名前を呼ばれると、手をあげて「はい」とかわいらしい声でお返事ができました。お友だちと元気いっぱい、たくさん遊びましょうね。

丹波山村保育所卒所式



令和7年3月29日、3人が卒所しました。お父さん、お母さんが見守る中、木下村長から保育証書をいただき、お友だちと一緒に保育所で楽しく過ごした思い出を絵に描いて、上手に発表できました。小学校でも元気に過ごしてくださいね。

丹波小学校入学式



令和7年4月8日、丹波小学校入学式が挙行されました。笑顔の3人の新1年生が、お兄さんお姉さんに元気よくあいさつをしてくれました。

丹波小学校卒業式



令和7年3月19日、第149回丹波小学校卒業式が行われました。今年度は1人の生徒が中学校へと巣立ちました。中学校でも勉学やスポーツに励まれることを願っています。

丹波中学校入学式



令和7年4月8日丹波中学校入学式が行われ、2人の新1年生が丹波中学校へ入学しました。また少し大人へ近づいた中学1年生、充実した3年間を過ごしてください。

丹波中学校卒業式



令和7年3月12日、丹波中学校第78回卒業証書授与式が行われました。今年度は2人の生徒が巣立っていきました。これまでの経験を糧に挑戦を続けてください。ご卒業おめでとうございます。

地域の出来事 Topics & News

ハラスメント研修を開催

ハラスメントに関する職員研修を令和7年4月23日に行いました。村の人材育成アドバイザーを務める株式会社ユコラの宮本義信氏を講師に、ハラスメントが起きやすい職場の特徴や、「ホワイトハラスメント」「ハラスメントハラスメント」など、近年問題になっている事例などについて学びました。

ハラスメントや職場でのいじめは、人を大切にする職場においてあってはならないこと、叱ることとハラスメント行為は全くの別物であること、また、「丹波山村職員のハラスメント防止に関する規程」でハラスメントに該当する行為は懲戒処分の対象であると定められていることなどを改めて確認しました。



働き方改革へプロジェクトチームを結成 働きやすい職場づくりを推進

令和7年4月24日付で「丹波山村職員働き方改革推進プロジェクトチーム設置要綱」を制定しました。柴田克己参与をチームリーダー、長谷川達弥課長以下総務課職員をメンバーにプロジェクトチームを発足し、ワークライフバランス及び効率的な事務運営を推進していきます。

また、丹波山村では9月30日まで、職員の身だしなみ多様化を試験的に行っています。①不潔に見えないこと②業務に支障が出ないこと③他人に危害を与えないこと④原状復帰が可能なこと—の4つと、職務に専念することを条件に、試験期間中は、服装や頭髮に制限を設けないこととしています。



畑の「見回りチーム」活動開始

畑の電気柵保全等を目的として、「見回りチーム」が活動を開始しました。少ない人数、少ない時間のなかで、少しずつでも耕作環境を良くしたいと活動していきます。一緒に活動して下さる仲間も募集中です。詳しくは役場振興課までご連絡ください。



図書を寄贈いただきました

埼玉県上尾市にお住まいの中込由美子様から自著『熟字訓で遊ぼう』を寄贈いただきました。中学校教諭としてご活躍された中込様は、最初の赴任地が丹波中学校でした。いただいた図書は、役場2階の図書コーナーに2冊、丹波中学校の図書室に3冊設置しました。



自衛官募集相談員 委嘱式を行いました。

4月16日、
自衛官募集相
談員に木下武
久さんが就任
されました。

自衛官に関
心があり、興
味のある方は
自衛隊に関し
て知識豊かな、木下相談員に一度相談してみたいかが
でしょうか。入隊についての疑問の解決を手助けしてい
ただけるとと思います。



海士町視察



1月16日に連携協定を締結した島根県海士町を3月23日から25日まで木下村長らが訪問しました。海士町における「大人の島留学」や「高校魅力化プロジェクト」など、実際に従事する方々へインタビューを行い、生き生きと活動する様子に深い感銘を受けました。こうした取り組みを参考に、今後の丹波山村の地域活性化施策に活かしてまいります。

健康 コラム

熱中症に 備えましょう



熱中症が最も起こりやすいのは、7月～8月ですが、6月の梅雨の晴れ間など体が暑さに慣れていない時季にも起こることがあります。本格的に暑くなる前に、体を慣れさせておくことが大切です。

暑さに慣れることを「暑熱順化」といいます。暑熱順化の促進には、軽く汗ばむくらいの運動を30分程度、2週間続けることが効果的です。運動をする際は、次のことに注意しましょう。

- ①涼しい時間帯に行いましょう。
- ②こまめな休憩と水分補給をしましょう。
- ③日差しが強い時は、日陰を選びましょう。
- ④帽子をかぶり、涼しい服装をしましょう。
- ⑤無理をしないようにしましょう。

*今年の夏も厳しい暑さが懸念されます。適宜、エアコンを使っていくのはもちろんですが、体を暑さに慣れさせて、熱中症に気をつけながら暑い夏を乗り切りましょう。

★ ご長寿 ★ おめでとうございます

嶋崎智津江さん（高尾）が2月5日に、船木ムツエさん（高尾）が2月16日に90歳のお誕生日を迎えられ、村からお祝いとともに、記念品等を贈呈しました。健康にご留意され、いつまでも、元気でいてください。



▲ 嶋崎智津江さん

「歯と口の健康週間」について

6月4日～10日は、「歯と口の健康週間」です。今年の標語は「歯みがきで 丈夫な体の 基礎づくり」です。

歯が痛い、歯ぐきの腫れや噛みにくいなどの症状は

ありませんか？40歳を過ぎると歯周病などにより歯を失う人が増えてきます。毎日のお手入れに加えて、定期的な歯科健診を受けましょう。

丹波山村では、今年度中に40・50・60・70歳になる方を対象に歯周病検診を行います。対象者には受診票を送付しますので、ぜひこの機会に受診しましょう。

お知らせ
Information

禁煙週間について

5月31日は「世界禁煙デー」、5月31日～6月6日の1週間は、「禁煙週間」です。今年の禁煙週間のテーマは、「受動喫煙のない社会を目指して」私たちができることをみんなで考えよう」です。

喫煙は、がんだけでなく、生活習慣病の発症や悪化、歯周病など体に及ぼす悪影響が明らかになっています。また、たばこの煙には多くの有害物質が含まれており、自分と自分の周りにおける大切な人の健康にも影響します。この機会に私たちができることを考えてみましょう。

6月は「食育月間」です

毎年6月は「食育月間」、毎月19日は「食育の日」です。「食育」とは、さまざまな経験を通して、「食」に関する知識と、バランスの良い「食」を選択する力を身に付け、健全な食生活を送れる力を育むことです。食育は、心と体を育むこと、健康な身体と心とを育むことに繋がります。健康的な食の在り方を考えるとともに、誰かと一緒に食事や料理をしたり、食べ物の収穫を体験したり、季節や郷土

食を味わったりするなど、「食育月間」や「食育の日」をきっかけに普段の食生活を見直し、できることから始めてみましょう。

薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」

薬物乱用とは、「たった一度」でも決められたルールを守らないで、薬物を使用することです。医薬品についても、「病気や傷の治療に使う」といった本来の目的以外に使えば、薬物乱用です。

「たった一度」の薬物乱用でも脳や体は破壊され、薬物を手に入れるために窃盗や強盗などの犯罪が誘発され、自分や周囲の大切な人の人生を壊してしまいます。

国及び県では、6月20日から7月19日までの一か月間「ダメ。ゼッタイ。」普及運動を行います。

この機会に薬物乱用の恐ろしさを正しく理解するとともに、身近な人の薬物乱用に気付いたときには、勇気をもって保健所へご相談ください。

▼相談先

富士・東部保健所 衛生課
☎0555-124-9033



戸籍の振り仮名制度について

戸籍法の改正により、新たに戸籍に氏名の振り仮名が記載されます。

本年5月26日以降、順次、本籍地の市区町村長から戸籍の筆頭者に対し、戸籍に記載される予定の氏名の振り仮名に関する情報が通知されますので、必ずご確認ください。通知された振り仮名が正しい場合には、届出は不要ですが、誤っている場合には、令和8年5月25日までに正しい振り仮名の届出をしてください。

▼詳しくは

法務省コールセンター

☎0570-0510310

又は

住民生活課

☎0428-8810211

にお問い合わせください。

食生活改善推進委員会からのお知らせ

今年度の食生活改善推進委員会の事業は、参加型に変更し、「昼食会」を実施いたします。各地区の公民館などを推進員が回り、参加者の皆様とふれ合いながら語り合いながら「昼食会」を進めてまいります。ぜひ、多くの皆様のご参加をお待ちしています。



材 料 (2人分)

- アスパラガス：3本
- 豚ロース肉(薄切り)：6枚
- 片栗粉：小さじ2
- サラダ油：小さじ1
- A(甘酢たれ)
 - しょうゆ：小さじ2
 - 砂糖：小さじ2
 - 酢：小さじ1



アスパラガスの肉巻き

食生活改善推進委員会です。今回は、旬のアスパラガスを使った「アスパラガスの肉巻き」です。豚ロース肉を使うことで、豚バラ肉よりカロリーを落とし、さっぱりした味に仕上がります。

作り方

- ① Aの調味料を混ぜ合わせておく。
- ② アスパラガスは、茎の固い部分を約1cm程度切り落とし、下から10cm程度をピーラーで皮を剥き、固めに茹でて、粗熱をとる。
- ③ アスパラガス1本に対し豚肉を2枚並べ、肉が重ならないようアスパラガスに巻いて、片栗粉をまぶす。
- ④ サラダ油をひいたフライパンに③を入れて、よく火を通す。
- ⑤ 豚肉の色が変わったら弱火にし、Aを加えてからめ、食べやすい大きさに切って完成。

新任紹介

地域プロジェクトマネージャー



柴田 克己

4月から丹波山村役場で勤務することになりました。柴田克己と申します。役場勤務に伴い、甲府市湯村から奥秋地区に越してきました。おいしいパン屋さんをはじめ、趣味のランニングで汗を流した後の「のめこい湯」など、丹波山暮らしを堪能しています。

丹波山村保育所



小林 かほみ

3月末をもちまして、地域おこし協力隊を退任し、4月から丹波山村保育所で職員として働き始めています。子供たちのたくさんの笑顔と元気いっぱいな声に囲まれながら充実した日々を過ごして

地域おこし協力隊



高橋 ま生

います。公園や散歩など、村内を子供たちと出かけることもありますが、その際は子供たちの成長を温かく見守っていたけると嬉しいです。どうぞよろしく願っています。

丹波山村のみなさん、はじめまして。千葉県野田市から丹波山村に来ました。高橋真生です。これまで仕事で障がいがあるお子さんや学校に通っていないお子さん、生活困窮世帯のお子さんやそのご家族と関わってきました。丹波山村でもたくさんのお子さんやご家族と関わりたいと思っています。またこの村ならではの新しいことにも挑戦してみたいです。この村に来てまだ日が浅いですが、既にみなさんのあたたかさに日々支えられています。どんな小さなことでもお声がけ頂けたら嬉しいです。これからよろしく願っています。



村上 はる基

2月より地域おこし協力隊インターンとして活動し、4月より地域おこし協力隊と

して活動させていただいております。村上陽基と申します。出身は埼玉県で、親族が山梨県にいてという縁もあって、東京都大田区から丹波山村に参りました。丹波山村では、丹波つくくらぶや放課後学習教室などの教育関係の事業に携わってまいります。また、教育以外にも幅広く興味がありますので、今後様々なことに挑戦したいという気持ちです。ご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、何卒よろしく願ひ申し上げます。



内田 ゆい

今年春に大学を卒業し、地域おこし協力隊に着任した内田唯です。大学時代に各地で地域の魅力に触れ、昨年9月に本村を訪れたご縁で移住を決定しました。現在は丹波つくくらぶや放課後学習教室で子どもたちと関わりながら、村ならではの貴重な経験を積んでいます。これから村内でお会いするかと思います。みなさんどうぞよろしく願ひいたします。



武田 こうき

「まいど、おおきに」の街、大阪から参りました、武田

光樹と申します。2002年生まれの22歳です。3月まで関西大学という大学で初等教育を学び、小・中・高の教員免許を取得いたしました。現在は、放課後子ども教室「丹波つくくらぶ」や「学習教室」に加え、丹波小学校でも活動させていただいております。校内外の垣根を越えて、丹波山村という素敵な村で「子どもたちの誰ひとり取り残さず、安心して生き生きと過ごせる環境づくり」をモットーに誠心誠意努めてまいります。どうぞよろしく願ひいたします。



渡邊 たいくん

丹波駐在

3月末に甲府警察署から丹波駐在所に着任しました。渡邊大暉と申します。駐在所での勤務は初めてとなりますが、皆様のお力になれるよう頑張っていきたいと思っています。趣味は野球をすること、丹波山村に着任してからは、地元「野球チーム」飛龍で活動しています。普段の生活で困っていることや相談がある方はお気軽にご相談ください。どうぞよろしく願ひいたします。

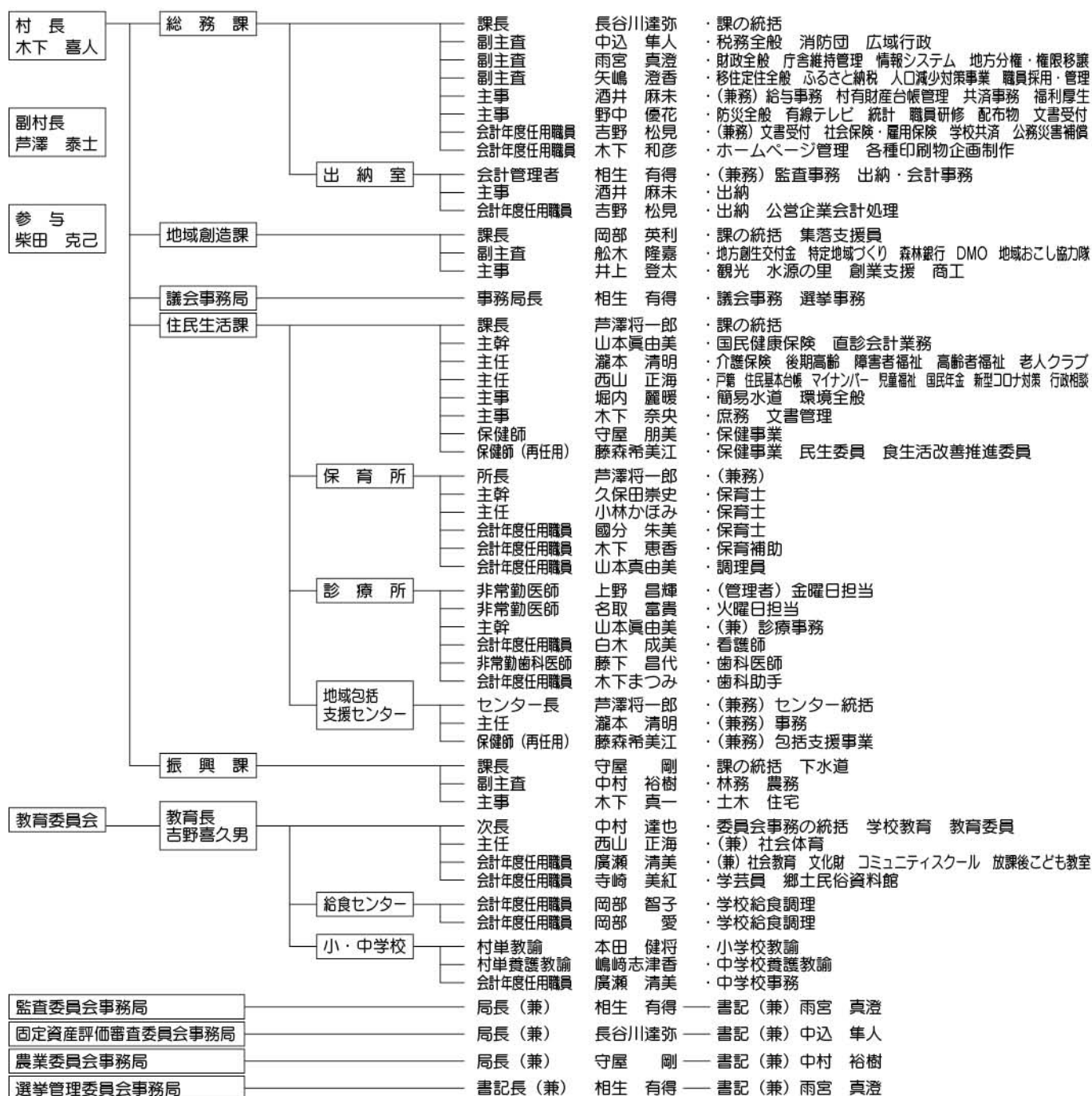
令和7年度 各地区新役員名簿

(敬称略)

地区名	区 長	区長代理	自主防会長	育成会	スポーツ推進員	隣 保 長
奥 秋	木下 喜人	木下 武久	木下 浩一	嶋崎 竜馬	瀧本 清明／初田真理子	1 木下 喜人 2 芦澤 弘昭 3 中込 隼人 4 岡崎淳一郎 5 清水 都 6 吉野 一也 7 嶋崎 竜馬
上 組	嶋崎 義人	小池 文夫	嶋崎 義人	石川奈緒美	嶋崎 竜馬／守屋真由美	1 嶋崎 義人 2 小池 文夫
中 組	守岡 公壽	武井 明信	藤原 貢	酒井 隆幸	守岡 公壽／守岡 美香	1 酒井 隆幸 2 嶋崎ミキ子 3 守屋 英子
下 組	河村 春樹	芦澤将一郎	芦澤将一郎		岡部 英利／中村 裕樹	1 芦澤 保雄 2 青柳 長雄 3 芦澤将一郎 4 岡部 一喜 5 廣瀬 直照
高 尾	青柳 敏彦	橋詰 昭人	酒井 新吉	尾曲 沙織	野中 優花／井上 登太	1 田中 満之修 2 青柳 幸重 3 吉村カヨ子 4 橋詰 修 5 河村 道明 6 尾曲 竜太
押垣外	岡部 政幸	佐藤 駿一	岡部 薫	佐々木美和	白木 拓巳／廣瀬 清美	1 岡部 国明 2 廣瀬 浩蔵 3 岡部 賢次
保之瀬	船木 良哲	岡部 清	小林 敏男		船木 隆嘉／西山 正海	1 船木 敏史 2 小林 敏男 3 河村 豊作
東 部	吉野はやと	岡部 隆一 史明	吉野はやと		岡部 隆一／河村 鈴子	1 酒井 智生 2 伊東 旭 3 吉野はやと 4 沼田 彦一 5 吉野喜久男 6 小林 史明

令和 7 年度 丹波山村行政組織図

(令和 7 年 4 月 1 日現在)



令和 7 年度の事務嘱託員 (区長) 会議を 4 月 16 日に開きました。木下村長が「配付物が大変という声もあるが、住民の方に村のいろいろな取組をお伝えしたくて出している。デジタル化も進めていくようにしているので、また 1 年ご協力をお願いしたい」とあいさつし、各地区からの要望や質問等を受け付けました。また、令和 7 年度の区長会長には、守岡公壽さん(中組)が就任されることが決まりました。

令和 7 年度 区長会長に
中組の守岡さん

第77回

日本消防協会定例表彰

「表彰旗」受章しました

丹波山村消防団にこのほど公益財団法人日本消防協会から、消防団活動における最高位の表彰の一つである「表彰旗」をいただきました。表彰旗の表彰基準は、「厳正な規律を保持し熟達した技能を有し、かつ、平素から消防の使命を達成することに努めており、他の模範となる消防団」とされている、非常に名誉ある表彰で、今回は、全国の消防団の中から37団だけが選ばれました。今後とも、地域防災の要としてさらなる研鑽に励んでまいりますので、引き続き温かいご支援をお願いいたします。



4月4日、丹波山村役場にて、令和7年度丹波山村消防団任命式が挙行され、入団者1人、退団者7人に辞令が交付されました。今年度も守屋保志団長のもと一致団結し、消防団活動を実施します。引き続き消防団活動にご理解ご協力をお願いいたします。

【入団者】	村上 陽基
【退団者】	
第1部指揮班長	木下 浩一
第1部団員	嶋崎 啓
第2部団員	河村 義信
本部団員	白木 敏彦
本部団員	安藤 敬司
本部団員	廣瀬 直照
第1部団員	大曾根悠太

(順不同、敬称略)

丹波山村消防団 任命式

第2回

クラフトビール&焼肉フェスを開催

5月4日、奥秋キャンプ場にて「第2回

クラフトビール&焼肉フェス」が開催されました。本イベントは、丹波山村ふるさと大使である株式会社カルネヴァーレ代表取締役・鳴坂竜一氏の発案によるもので、昨年に続き2回目の開催となりました。会場では、黒毛和牛や村産ジビエを七輪で焼いて味わえるバーベキューと、源流エリアのクラフトビール3社によるビールが提供され、多くの来場者でにぎわいました。村内外出店者による飲食物の販売もあり、自然の中で食と交流を楽しむ1日となりました。



出張移住相談を 始めます



丹波山村への移住、山村留学などの相談に対応するため、5月から月に1回、東京・有楽町のふるさと回帰支援センターで出張相談会を開きます。移住コーディネーターを兼ねる役場職員が正午から午後4時まで対応します。